「ダブルケア（多重ケア）～介護と育児の同時進行～について学ぼう」

過去のワークショップの様子

ダブルケアとは「育児と介護の同時進行」だけに限らず、家族や親族等、親密な関係における複数のケア関係や、自分自身へのケアなども含む「複合的ケアとその周辺の課題」のことと今回は定義しています。当事者の方も支援をしたい方も学びたい方もぜひ!ゲストにダブルケアかわさきの当事者の方をお招きする予定です。ワークショップで交流も実施します。

日時　12月2日（月）10時～12時
場所　上野区民館4階会議室（洋室）池之端1－1－12
←申し込みはこちら
https://kokucheese.com/event/index/583721/

ジンジャー と さよ

幼児教育無償化で給食費どうなったにゃ?

23区でも全額行政が負担するところと一部負担のところがあるみたい。台東区は年収約680万程度（小学校の就学援助と同じくらいの金額）までは無償にして区で負担にしたよ。

他の区は幼稚園は有料なのにゃ。

そうなの。台東区は保育園と幼稚園が両方教育委員会に入っているし、そこで差がつくのはおかしいと思うので公立・私立どちらも対象にしているの。

なんで台東区は年収制限あるのにゃ?

個人的には年収制限は好きじゃないし、すべての子どもは平等であるべきだと思うけれども、年収制限をはずしてしまうとお金がすごくかかってしまうの。就学前教育が給食無料だったら小中学校も無料にってなるでしょう?

小中学校の給食費も無償だといいにゃ!

うん。私もそう思うけれどもものすごいお金（億単位）が継続的にかかるの。それに使うなら他に先にやるべきことがあると思っているところ。

本目さよ プロフィール

1982年3月10日生　37歳
私立成蹊高校、白百合女子大学を経て、お茶の水女子大学大学院修了。研究テーマは『夫婦の情緒的サポートと育児ストレスの関係』。修了後はIT系人事職として、社員が働きやすい会社づくりにつとめる。2011年より台東区議会議員。2019年3月に３選を果たす。台東区では唯一の３０代で子育て中の女性議員。
声なき声を聞くという意志と、少子高齢化への特効薬としての子育て支援に力を入れていることからキャッチフレーズは「子育て、本命！ーやさしい政策ー」「議員のあり方」とは何か？を模索しながら区民の方々との双方向的な取り組みを実施している。政策を実現できる超党派若手女性議員のネットワーク「WOMAN SHIFT」代表。子育て・若者支援特別委員会委員長。一児の母。

党籍：無所属
会派：つなぐプロジェクト
資格：保育士
趣味：読書
　　おかしづくり
好きな物：くだもの

http://www.sayohomme.com/
facebook.com/hommesayo
@sayohomme
http://ameblo.jp/hommeisayo/

発行：台東区議会議員 本目さよ　台東区谷中3-24-8-203

区政報告レポート

ほんめの“眼” HOMME'S EYE vol37

外国人住民の増加に対応を・・・P2
双子家庭の支援について　・・・P3
ダブルケアの勉強会を実施します
・・・P4

台東区
議会議員

本目（ほんめ）さよ

台東区議会　令和元年度第三回定例会が終了

9月19日から10月28日まで開催された第三回定例会では決算特別委員会の委員として平成30年度決算のチェックをし、認定をしました。
日本堤子ども家庭支援センターの拡充の工事などのための約7億をはじめとする一般会計補正予算(第3回)を含む30議案を可決しました。
決算特別委員会での本目さよの提案・質問と今議会で報告された内容をお伝えします。

平成３０年度の決算を認定しました

平成30年度に区がつかったお金のチェックをする（=決算特別委員会での審議）ことも、区議会議員の仕事の一つです。適切にお金が使われてきたのか？事業内容で足りないところはなかったのか？について審議をしました。**今回は大きなテーマを2つ設定し区長・教育長に提案**しました。

- **多文化共生の推進**（在住外国人の方が増えている台東区。しっかりと対策を）↓
- **多胎児支援の充実**（ふたごちゃん、みつごちゃん家庭の支援が足りていない！）→

違いを楽しめる台東区へ（多文化共生の推進）

台東区の外国人在住者の割合は7.7%。約13人に1人が外国籍を持つ住民です。しかし中で台東区の多文化共生の政策は進んでいません。そこで以下の提案を実施しました。**「違いを受け入れる」ではなく、「違いをたのしめる」社会になることをめざして！**

学校園含む各窓口にポケトークを！

すでに区役所と保健所ではタブレットを利用した通訳が利用可能だが、全部で4台しかないため、言語の壁を乗り越えるためのポケトークなどのAI型の通訳機器などを役所の様々な窓口に置いて、コミュニケーションロスを減らすべきと提案。

外国籍の子どもの日本語教育の充実を

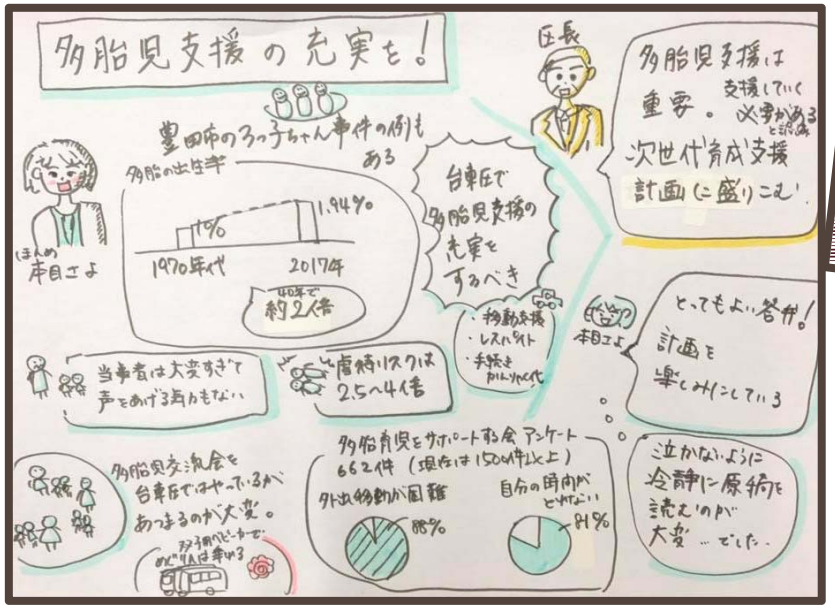
墨田区では日本語指導のための通級教室を実施している（台東区では各学校に通訳を派遣）。台東区でも通級も含めた検討をするべき！

台東区役所内で横断的な組織立ち上げを

現在は区民課 協働・多文化共生係で担当しているが多くの部署に関わるため横断的に取り組むべき。

その他に提案・質問したこと

- ☑区民館を利用する際にHPやチラシで案内してはいけないのはおかしい
- ☑庁内に貸し出し用ベビーカーを！
- ☑「けんちゃんは3才」など区役所で発行している資料のジェンダー表現に偏りがある。行政の中で男女表現のガイドラインをつくるべき
- ☑自転車用の幼児の安全ヘルメットの配布を現在は2才だが1才からにするべき
- ☑誰もが読みやすいユニバーサルフォントの利用を（ほんめの眼も使用しています）
- ☑保育園児は地震等の災害時には原則は園にとどまる。しかし避難所を園から案内されることも。帰宅困難者扱いになるため周知の徹底を
- ☑ファミリーサポートの登録を簡単にするべき
- ☑泊まりであずけられるショートステイは中学生が対象外。セーフティネットは整備するべきでは？
- ☑小中学校で男女別になっている名簿は奇数学年は女子が先にするなどの配慮をするべき
- ☑幼保小中学校の治癒証明についてルールが統一されていない。整理をするべき



豊田市でおきた三つ子ちゃんの次男を床に叩きつけてお母さんが死なせてしまった事件。多胎児家庭への支援が足りなかったのでは?と話題になっています。台東区での多胎児支援はどうなっているのか?決算審議を通じて確認。台東区でも支援が十分であるとは言えないため、充実を求めました。区長からは重要であるため**次世代育成計画への記載を検討すると非常によい答弁をもらいました。**

第３会定例会ではどんなことが報告された？

幼児教育無償化にともなう台東区の対応

世帯年収680万円以下相当の家庭は主食費も副食費も無償。それ以上は副食費4500円を徴収。他区では保育園のみのところが多いが**台東区は幼稚園・こども園も対象**（P4で解説しています）

来年の協働事業について

NPOなどと一緒に社会課題を解決する協働事業について、来年度は「日本助産師会」と一緒に、見守りが必要と判断された世帯への訪問や交流の場への誘い出しを実施。

保育園のお散歩経路の安全点検

今まで学校の通学路は安全点検を実施していたものの、**保育園のお散歩ルートは確認してこなかったため、警察と共同で安全点検を実施。**結果や改善については、後日議会に報告がある予定。